



緑立つ道

「緑立つ道」は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路「第二京阪道路」と「一般国道1号バイパス」の愛称です。

Vol.1

1993年11月発行

発行
建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所
日本道路公団 大阪建設局 枚方工事事務所

緑立つ道トピックス

「環境施設帯」は、道と暮らしをやさしくつなぐ緑のベルトです。



枕草子に書かれた「うたのたのむをイメージした、木をのりたり、鳥や虫と対峙したり、心身の文化としての自然環境への関心」が背景です。

道路の沿道の環境を守り、地域と調和した道路をめざして。

道路の建設には、渋滞を解消し、スムーズな交通を確保することだけでなく、周辺の地域に、より豊かな暮らしを生み出すことも大切です。「緑立つ道」が通る予定の地域は、人口も多く、都市化がすすんでいることから、地域の方々の暮らしや環境との調和を考えて、道路の両側にゆったりとした「環境施設帯」を設けることを計画しました。

緑あふれるスペースが、暮らしに潤いを生み出します。

「緑立つ道」は、専用部（自動車専用道路）、「一般部（一般用道路）」「環境施設帯」の3つの部分で構成されています。「環境施設帯」には、植

樹帯、副道（主に沿道の皆様が利用する道路、自転車歩行者道を含んでおり、道の両側にそれぞれ約20メートルの幅で設ける予定です。車道と沿道との間に距離をとり、植樹帯等を設けることにより、騒音や振動、排気ガスなどが生活に与える影響をやわらげるとともに、太陽の光をさえぎらない道づくりを行うことができます。また、たつぷりと植えられた樹木は、地域の環境と調和しながら美しい景観をつくりだし、「緑立つ道」の愛称にふさわしく、「緑のオーブンスペース」として暮らしに潤いを生み出します。



読者の声

創刊準備号にお寄せいただいたみなさんのご意見。その一部をここで紹介します。

●「熊野古道」「京街道」「西国街道」「中山道」…。昔から道は私達の郷愁と夢をはぐくみ、自然とも混然一体となった、人や動物にやさしいものでした。しかし最近道といえは、いろいろと悪いイメージが浮かんできます。そんな中で、この「緑立つ道」は、自然を出来るだけ取り入れた新しい時代の道を目指しておられ、なんとなくホッとします。今後とも、こんな道を広げてほしいと思います。 [枚方市 さん]

●「緑立つ道」とは何と清々しい名前でしょう。私達の住む寝屋川市仁和寺本町は、旧一号线と二号线バイパスにはさまれた所に位置した古くからの街です。近くには道真公ゆかりの佐太天神や仁和寺神社、緑美しい淀川の河川公園がありますが、その反面、交通量の多い国道とバイパスにはさまれ、渋滞時のゆげ道として、車が通り、子供達の通学路も大変危険なものとなっています。大気汚染の問題もあります。「緑立つ道」のように、人々の生活を考えた上、交通の便利さも取り入れた道路ができることを私はとても喜ばしく思います。より快適な街を目指し、「緑立つ道」を進めてほしいと願っています。 [寝屋川市 さん]

●「緑立つ道」創刊準備号を拝見しました。京都―大阪を結ぶ新しい道路が車のためだけでなく、歩行者道としても整備されることに大変うれしく思います。新しい道が、車だけでなく、人が京都―大阪間を自転車や歩いて往き来できる道になりますこと、大いに夢がふくらみます。26・4km。一日で歩けるよう、道が完成するまでに足腰を鍛えておきましょう。 [門真市 さん]

質問に お答えします。

Q 日本各地の道路は何号まであるのですか。 [72歳 女性]
A 現在、国道は1号から507号まであります。ただし、このうち48路線は欠番になっているので、実際には459本の路線があることとなります。番号は1号から58号までは東京を中心に、101号からは北から南へ、という順番でつけられています。

Q 創刊準備号に掲載された木南邸とはどの辺りなんでしょうか。 [81歳 男性]

A 京阪枚方公園駅から歩いて約5分です。 [枚方市堤町二番]



11月18日は「土木の日」
「十一」(十八)をそれぞれつけて書いてみると、「土木」という字になりますよね。そこで、来る11月18日は「土木の日」。街づくりをとおして、人の暮らしをより安全に、より豊かにする…そんな、土木の役割について考える日です。

各市の催し

- 農業まつり 11月20日(土) 10時30分 [寝屋川市役所 本庁一般駐車場]
- 農業まつり 12月18日(土) 19日(日) 10時 [交野市JA本店]
- 新米ろうかい 平成6年1月15日(祝) [深川奉子 お問い合わせ 財枚方体育協会事務局 TEL]

地域の情報を集めます。

情報誌「緑立つ道」では、これから地域に密着した様々な情報をお届けしたいと思っています。そこで、みなさんが存じのおもしろい「場所」「人」「物」など、地域の情報をお寄せいただきたいと思っております。住所・氏名・年齢・電話番号をお書きのうえ、左記の宛て先までお送りください。情報をお寄せいただいた方の中から抽選で50名様にテレホンカードを、また、ご希望の方には北河内内の「道の歴史の小冊子」道たんねて二千年」をプレゼントいたします。

宛て先「緑立つ道」編集局「地域情報」係
建設省 近畿地方建設局
浪速国道工事事務所
〒573 枚方市南中振
3丁目2番3号

第1号 によせて

創刊準備号の発行から3カ月、第1号をお届けすることができました。この間、地域のみならず、みなさんからの意見や記事への感想、またレポーターへの応募をいただき、編集局一同、深く感謝しています。今後、情報誌「緑立つ道」は、3カ月に一度のペースで発行していく予定です。誌面を通じて、一人でも多くのみなさんと、「道」についていっしょに考えていけたら、と思っております。これからもよろしくお願いたします。

次号発行予定、平成6年2月中旬



小冊子「道たんねて二千年」

この情報誌は再生紙を使用しています。

寝屋川市、打上で首を見守る弘法大師 (場所は中流の地区をご覧ください)



野中を通る道にたえず過ぎて過したひととき。過ぎて行く時間に心を遊ばせ、あたりの音に耳をかたむけると、ゆつくり気持ちが和んでいきます。

木々の緑と、人と、道と…やさしい関係が、見つけられそうです。

東高野街道を歩く

京都から南へ下る「東高野街道」。北河内では、枚方市、交野市、寝屋川市、四條畷市、大東市を通って、遠く高野山へと続いていました。河内を南北に縦断するこの「東高野街道」と、当時の人々はどうな風にかかわったのでしょうか。今回は、東高野街道にも詳しい先生に解説していただきながら、街道の近くにお住まいの読者レポーターお二人にこの道歩いたいただきました。

沿道の人の手で大切に守られてきた「弘法の井戸」。

きれいな水ですね。これ、飲めるのをお世話なさってますね。上に生えてるのは椿でしょうか。花のころはきれいでいいですね。左の石柱には何て書いてあるんですか。「弘法観念水」と書いてありますね。弘法大師の逸話にはいろいろあります。素性を隠した弘法大師が、村の人々に頼み事をするんですが、それを快くきいてくれたら、功德をさすける。この井戸もおそらくそうでしょう。「弘法の井戸」はほかの場所にもありますね。



今も澄んだ水をたたく「弘法の井戸」。上のほころには弘法大師がまつてあります。



これも弘法大師をまつたてられた石像。前の通りは昔の街道です。

昔の面影をとりぬる街道の風景。距離を教えくれるのは一里塚です。

昔は、一里ごとに直径2メートルくらいに土を盛って、そこに松などを植えて目印にしたんです。必ず松の木だったんですか。全部がそうというわけではありませぬが、松が一般的でしたね。

主要な街道沿いに完備されたのは徳川幕府になってからですね。旅をする人が、どれだけ進んだかわかるのはもちろんですが、たとえば籠に乗ったときなどにも、運賃を決める目安になっていました。古地図を広げて、これは江戸時代の地図ですが、この道沿いに小さい点をふたつ並べた印があるでしょう。これが一里塚なんです。ずいぶん整っていたんです。東高野街道には全部で11カ所あったようです。残っているのは、八尾市の垣内と富田林市の錦織だけ



東高野街道

四條畷市在住。絵をみるのが好き。地域の読書会に参加し、年に2回「ふだん道」という同人紙を発行されています。



環屋川市在住

テニスや乗馬などを楽しむ一方、歴史や社会問題にも深い興味をお持ちです。



星田付近の街道。昔はここに一里塚がありました。



先生 1937年 大阪市生まれ 大阪府立清友高等学校教諭、高安城を探索会、大阪府教育委員会「歴史の道」調査委員、著書：「八尾・柏原の歴史」「大阪の戦乱と城」など

世界に寄り道

ドイツ・アウトバーン

19世紀末に発明された自動車。その普及とともに、国家の事業として建設が進められた自動車専用道路。それがドイツ・アウトバーンです。

アウトバーンは、設計技術の高さとともに、景観と調和した道路として有名です。建設計画では、工事のときも、交通の際にも美しい道路をモットーに、「道路で山や谷などの眺めをさえぎらない」「道路自体に、風景と一致した美しさをもたせる」などの考え方を取り入れられました。道路と人、道路と環境の関係を考えた、ひとつの「文化」としての道路を確立したのです。

現在、総延長を約1,300キロメートルにする建設計画が進められているアウトバーン。ドイツの人々にとっては、仕事の途中に昼食を取りに隣の街へ...というように、気軽に、快適に利用できる高速道路として暮らしの中に活躍しています。

カーブを曲がるたびに新しい風景が...豊かな緑と一体になったアウトバーン。

普通の道を、一瞬で「祭」の場に変える。それがちんどん屋の仕事です。

派手な格好で、太鼓やカネ、トランペットなどを鳴らしながら、様々なメッセージを伝える「ちんどん屋さん」。ユニークなリズムとユーモアたっぷりの口上が、道行く人をたちまち引き込んでいきます。

「ちんどん屋は、日常の雰囲気を一瞬のうちにお祭りのようにしてしまうんです。」そう話してくれた、さん。大学生の頃にちんどん屋の「音」に興味を持ち、卒業後この世界へ。以来ずっと「道」を仕事場にしてきました。

「ちんどん屋は、楽器の音も生なら、喋るのも生、マイクなしでしょう。その瞬間その道に在る人と、直接やりとりしながら仕事を進めていくわけですから。その「生の力」が人を引きつける。非日常の「祭」の場をつくりだす。その雰囲気の中にあると、挨拶めきで人と親しくなれるんです。」

様々な人達が、道の上で、つかの間、同じような瞬間を共有する。それは、瞬間その道に在る人と、直接やりとりしながら仕事を進めていくわけですから。その「生の力」が人を引きつける。非日常の「祭」の場をつくりだす。その雰囲気の中にあると、挨拶めきで人と親しくなれるんです。」

「祭」を楽しむ。そんな中で、さん自身も多くの人と出会い、人生勉強をしたと言います。ちんどん屋を会社組織にして9年。現在15人の社員とともに、海外も含めて年間400カ所近くをまわっている。10月末には、そんなさんの思いをつづった本「ちんどん屋さん」も発売されています。ますます意気揚がるところ。今年の御堂筋パレードでは、素人ばかり100人以上の「ちんどん大部隊」の指導をしたんです。仮装して、演奏しながら踊ったり行進したり...皆さん一度はやってみたいと思いませんか。当日はもちろん、練習の時から大盛り上がり。僕は、ちんどん屋をひとつの大衆文化として国内・国外にアピールしたいと思っています。会場を借りなくても、「道」というステージで、手軽に誰もが楽しめるっていいでしょ。」

「ちんどん屋」の未来を、夢いっぱい話してくれた、さん。明日はあなたの街で出会えるかもしれませんね。

TEL. さんの連絡先「ちんどん通信社」

この日は総勢4人。地域の催し物のPRのお仕事でした。

「普通の道を、一瞬で『祭』の場に変える。それがちんどん屋の仕事です。」

その「道」の達人。ちんどん屋の達人。さん 天阪市

ちんどん屋さんの必需品「ちんどん太鼓」。独特のリズムをつくり出す。

表紙の風景。表紙の人。

さん(環屋川市) 大阪市内の会社におつとめの23歳。ゴルフ、スキーなどスポーツが大好き。「この情報誌を読んで、ふだん通る道のことも意識するようになったんですよ。」

このあたりは車でよく通るんですが、弘法大師がおまつりされているなんて、全然知りませんでした。土を踏みしめて歩いたのは久しぶりだったので、靴の下で鳴る土の音が嬉しかった。水の流れる音が気持ちよくて、自分がふだん、ザワザワした所で暮らしているんだなあ、とあらためて感じました。撮影の途中に、この道を通った人に話しかけられたんですけど、知らない人でもすぐ打ち解けられるのも、あんな自然の中にならうだと思えます。自然の道は、人と人との距離を近くするのかもしれないね。ちがう季節に、また見に行ってみたい気がします。

シリーズ道くさしよーよ

葉の色めふしぎ・大けんきゅう

冬がそこまできてきて、

道の両側の並木も、すっかり色が変わったね。

葉っぱの色は、木によってさまざま。

どんな木がどんな色になるか、けんきゅうしたら、

街をあるいて、街路樹マップをつくってもおもしろいね！



ハゼ

9枚～15枚くらいの羽のような葉が、ひとつの軸についている。全体の長さは25～35センチくらい。真っ赤になるよ。

イロハカエデ(モミジ)
3～5センチくらいの葉で、5～7つのさげ目がある。紅葉の代表選手で、昔の人は、葉が色づくことを「もみじする」といったほんだ。



アメリカカブ

15センチくらいの葉で、5～7つに裂け目がある。葉のふちのぎざぎざが内側へ曲がるのが特徴だよ。



ポプラ

トランプのスピードマークのような形の葉をしていて、大きさは7～10センチくらい。学校の校庭にもよく植えられているね。



イチヨウ

5～13センチくらいの扇形の葉で、真ん中に切れ目の入っているものもある。木全体がまっ黄色になるよ。茶わん蒸しなどに入っているギンナンは、イチヨウの種だよ。



プラタナス(アズカケノキ)

10～20センチくらいの葉で、3つ～7つある裂け目が深いのが特徴。幹の皮が点々とぼけているので見分けられるよ。

葉の色のしくみ

木の葉がどうして緑色に見えるか知ってるかな？それは、葉に「葉緑体」という「緑色のもと」になる物質が含まれているからなんだ。
もちろん、緑以外の「色のもと」も含まれているから、「緑色」といっても木によってさまざまな種類があるんだよ。
秋が深まると、朝晩の気温が下がって、昼間との温度差が大きくなるね。すると、葉を緑色にしている「葉緑体」が分解される。「緑色のもと」がなくなるんだ。それで、今までかくれていた別の「色のもと」があらわれたり、新しい「色のもと」が作られたりして、葉の色をあんなに美しく変化させるんだよ。

ケヤキ
葉の大きさは2～10センチくらいで、ふちがギザギザがついているよ。色は茶色。神社やお寺にもよく植えられているよ。



枝にとまっているのはモズ。するどい声でなくんだ。

「緑立つ道」は、木が がんばる道なんだ。

道の両側には、街路樹として、よく木が植えられているね。この木はどんなはたらきをしているんだろう。
木は、日差しをやりわらげ、美しい風景をつくって目を楽しませてくれる。春に芽をだしたり、秋に葉の色を変えたりして、季節を覚えてくれたりもするね。車のたくさん通る道では、はいきガスやその音のえいきようをやわらげるはたらきをするんだよ。

あたらしく大阪と京都をむすぶ「緑立つ道」では、車の道と人や自転車の道の間に、たつぷりと木が植えられる予定なんだ。その木がしっかりと役目を果たして、道を通る人も、まわりに住む人も、気持ちすがすがしくなるような、そんな道が生まれるんだよ。

木のほりをしたり、虫や鳥とお話ししたり…木があると、なんだか楽しいね。



道のもの知りシリーズ

海をわたったり、谷をこえたり…あんな長い橋、どうやってかけるのかな?

海や川をわたったり、谷をこえたり、道路がたくさんある場所ではその上を通ったり…と、いろんなところがかつやくしている「橋」。建設中の「明石海峡大橋」は3,910メートルもあるんだよ。完成すれば世界でいちばん長いつり橋になるんだ。橋をつくる日本の

技術は、世界でもトップレベル。では、このような橋はいったいどうやってつくるのだろう。

橋づくりは、まず、橋をささえる土台づくりから始まる。土台は、コンクリートや鉄などの大きな箱だよ。そのうえに「橋脚」という柱をたて、その「橋脚」の上に橋をかけるんだ。コンクリートの橋をかける方法のひとつに、「橋脚」の両はしからヤジロベエのようにバランスをとりながら、少しずつ橋をのぼしていくという方法があるよ。ほかに色々な工事の方法があるから、工事中の橋をみつけたら、じっくりかんさつしてみてね。



●ヤジロベエのようにつくっていくんだね。



たくさんのお友だちが来てくれました。



「すはモール」の会場ではいろんなイベントがもりだくさん。

●8月10日の「道の日」イベント

夏休みもまったなかだった、8月10日の「道の日」。イベント会場に来てくれた人はいるかな? 途中雨も少し降ったけど、それでもたくさんの方が会場の「くすはモール」に来てくれました。コーラスのすてきな歌に聞き入ったり、キャラクターの「こっちだヨウ平くん」といっしょに踊りだすお友だちもいて、とってももりあがりました。参加してくれたみんな、どうもありがとう。またの機会を楽しみにしています。

11月18日は土木の日

一年にはいろんな「〇〇の日」があるけれど、11月18日は「土木の日」。「どうして11月18日なんだろう?」と思っているかな? 「十一」「十八」をそれぞれつけて書くと、ほら、「土」「木」になるでしょう。道路や鉄道をついたり、水道や電気やガスを通す工事をしたり、病院や学校をついたり、「土木」のやわりはいろいろ。いろんなところで暮らしを便利にするためにがんばっているんだよ。